ISSN 0915－5171

グリーントピックス

No.59

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場

カラマツ播種コンテナ苗の育苗と運搬・植栽のマニュアルを作成しました

コンテナ苗は、活着が良好で、植栽時期の幅が広く、苗木の生産や植栽の機械化ができると期待されています。

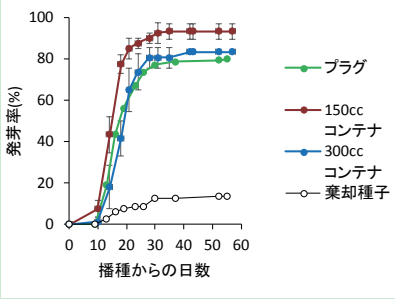
今後、再造林を低コストで実施する上でコンテナ苗は必要不可欠ですが、コンテナ苗の生産・植栽が始まって日が浅く、まだ、試行錯誤の状態にあります。

そこで北海道立総合研究機構林業試験場では、森林総合研究所、九州大学、北海道山林種苗協同組合と共同研究を進め、コンテナ苗の持つ利点を生かせるよう、カラマツ播種コンテナ苗の育苗方法と、コンテナ苗の運搬植栽方法を改良し、マニュアルを作成しました。また、解説編を加え、マニュアル作成の根拠となった試験結果を紹介しています。

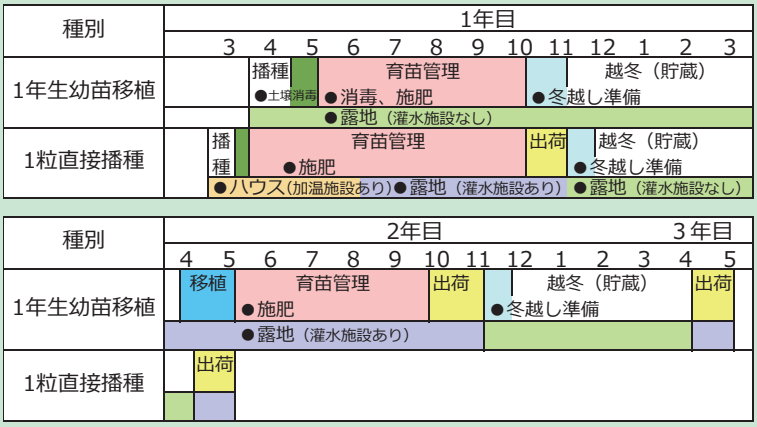
本マニュアルは、林業試験場のホームページでダウンロードできます。
http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/kanko/fukyu/pamph.htm

（保護種苗部　来田和人）

これまで幼苗移植により２年かかっていたカラマツコンテナ育苗を、発芽率を90%以上に高め（図－１）、１年で育苗する方法を紹介しています（図－２）。



図－１　近赤外光選別した種子の発芽率推移
プラグ、150cc コンテナ、300cc コンテナが選別種子、棄却種子は別途、プラグに播種した。



図－２　現行の１年生幼苗移植コンテナ苗と開発した１粒直接播種コンテナ苗の育苗スケジュールの比較

これまでの苗木袋運搬（写真－１）・島田グワ植栽に代わり、小型運搬機（写真－２）・オーガ（写真－３）による運搬・植栽方法を紹介しています。

写真－1　苗木袋による小運搬

写真－2　小型運搬機による苗木の運搬

写真－3　エンジンオーガによる植栽